



第208号

連携室だより



公益財団法人  
北海道医療団

帯広第一病院



帯広第一病院理念・基本方針

【理念】

地域に信頼される病院を目指し、質の高い、思いやりのある医療サービスを提供する。

【基本方針】

- 1 患者の皆様の安全と権利を守ります。
- 2 地域医療機関との連携を推進します。
- 3 救急医療の充実に努めます。
- 4 研修や教育を積極的に行います。
- 5 働きがいのある職場を作ります。

理事長賞表彰式

理事長 小林 光樹



皆さん、こんにちは。昨年度もCOVID-19感染症との闘いが続きました。感染しない、持ち込まない、感染を広げない、ということに全職員が取り組んだ1年間でした。その中での日常業務はストレスがたまるものであり、緊張を強いられた場面もあったと思います。多くの苦難を経験し克服してきた全ての職員に拍手を送ります。

COVID-19との闘いの、ある意味象徴的な業務としてPCR検査を実施した、帯広第一病院、帯広西病院、音更病院の臨床検査科の皆さんに感謝します。帯広第一病院では積極的に対応し1日3回PCR検査を実施しました。帯広西病院ではいち早く導入しPCR検査に取り組みました。音更病院もPCR検査を開始しました。3病院が連携して取り組んだ結果、COVID-19の拡大を防ぎ患者さまと職員の健康と生命を守ることに繋がりました。

4月20日の経営会議開始前に、帯広第一病院臨床検査科職員同席のもと、帯広西病院と音更病院の臨床検査科職員にもZOOM参加してもらい、代表として榎本基樹法人統括技師長に表彰状と副賞をお渡ししました。



今号の内容

- ・理事長賞表彰式 理事長 小林 光樹 ..... (1)
- ・令和4年度消化器内視鏡センター実績報告 消化器内視鏡センター長 鈴木 郁 ..... (2)
- ・歯科口腔外科入院による全身麻酔下手術実績報告 歯科口腔外科部長 工藤 章裕
- 地域医療連携室 新スタッフ紹介 ..... (3)
- ・帯広第一病院事務長就任のご挨拶 事務長 菊池 和浩 / 看護部長就任のご挨拶 看護部長 林 かおる ... (4)

## 令和4年度消化器内視鏡センター実績報告

## 消化器内視鏡センター長 鈴木 郁



平素より大変お世話になっております。消化器内視鏡センター長の鈴木です。

当センターでは令和4年度、下記の通り合計7461件の内視鏡検査を施行いたしました。うち上部5526件（治療168件）、下部1658件（治療266件）、その他277件という内訳となっております。

例年に比するとやや少ない件数となってしまい大変恐縮ですが、令和5年度に差し掛かり、当センターでも新たな人材を迎え入れるなど複数の変更点がございましたので、今後とも常に安全な検査を心がけて地域の皆様の内視鏡検査により邁進させていただくとともに、地域の諸先生方には今後とも特に内視鏡検査及び治療が必要と思われる症例については遠慮なくご相談・ご紹介いただき、先生方の日常診療の一助となれるよう全身全霊で取り組む所存です。

令和5年度も皆様からのご指導ご鞭撻の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

検 査 手 技	令和2年度	令和3年度	令和4年度
上部消化管	5,584 例	4,527 例	5,526 例
(内 訳) 上部消化管内視鏡検査	5,343 例	4,368 例	5,358 例
消化管止血術	59 例	46 例	29 例
異物除去術（アニサキスなど）	17 例	6 例	18 例
胃ESD(内視鏡的粘膜下層切除術)	30 例	19 例	21 例
食道静脈瘤硬化療法・結紮術	21 例	8 例	4 例
食道・胃ステント留置術	18 例	3 例	21 例
内視鏡的胃ろう造設術	68 例	39 例	34 例
下部消化管	1,902 例	1,305 例	1,658 例
(内 訳) 下部消化管内視鏡検査	1,251 例	1,078 例	1,392 例
大腸止血術	24 例	12 例	17 例
大腸ESD(内視鏡的粘膜下層切除術)	36 例	12 例	28 例
大腸EMR(内視鏡的粘膜切除術)	551 例	179 例	176 例
大腸ステント留置	23 例	14 例	21 例
ERCP（内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査）胆道ステント留置術	291 例	174 例	198 例
カプセル内視鏡検査	1 例	0 例	0 例
バルーン内視鏡検査	17 例	4 例	0 例
胆膵EUS	98 例	63 例	79 例
肝生検（経皮的針生検）	9 例	9 例	0 例
経カテーテル肝動脈塞栓術	0 例	0 例	0 例
経皮的ラジオ波焼灼療法	1 例	1 例	0 例
合 計	7,903 例	6,083 例	7,461 例

# 歯科口腔外科入院による全身麻酔下手術実績報告

歯科口腔外科部長 工藤 章裕



歯科口腔外科の令和4年度（令和4年4月から令和5年3月まで）の全身麻酔下での手術実績を報告させていただきます。本年度も新型コロナウイルス感染症の影響で手術件数は減少しています。

全身麻酔下で手術をおこなったのは103人（前年度は116人）で、手術件数は418例（前年度は427例）でした。

手術内容は抜歯が348件と最も多く、そのうち171件は埋伏智歯などの埋伏歯抜歯でした。

顎骨の良性腫瘍や嚢胞の摘出は11件、顎骨嚢胞開窓は2件でした。

顎変形症に対する上顎骨形成術（Le Fort I 骨切り術）は4件、下顎骨形成術（左右下顎枝矢状分割術）は4件、オトガイ形成術が1件でした。顎変形症手術はいずれも上顎骨形成術と下顎骨形成術を同時におこなっています。

全身麻酔下で手術をおこなった患者さんの多くは歯科医院から紹介をいただいた方です。

たくさんの貴重な症例のご紹介をいただいたことに心より感謝申し上げます。

今後も地域の医療機関と連携を図りながら口腔外科的治療を中心として診療をおこなっていきたく思います。



抜歯		348
内訳	埋伏歯抜歯術	171
	埋伏歯抜歯術以外	177
歯根嚢胞摘出手術		42
下顎骨形成術（下顎枝矢状分割術）		4
下顎骨形成術（オトガイ形成）		1
上顎骨形成術（Le Fort I 骨切り術）		4
顎骨内異物除去術（プレート等）		4
顎骨腫瘍・嚢胞摘出術		11
顎骨嚢胞開窓術		2
骨瘤切除		1
頬粘膜腫瘍切除		1
合計		418

## 地域医療連携室 新スタッフ紹介



事務員

よしだ まさみ  
吉田 雅美

新緑の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、令和5年5月より地域医療連携室にて事務員として勤務させていただくこととなりました。不慣れなことも多く、ご迷惑をお掛けすることもあるかと存じますが、一日も早く地域の先生方やご利用される皆様、関わる皆様のお役に立てるよう励んで参りますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

## 帯広第一病院事務長就任のご挨拶

きくち かずひろ  
事務長 菊池 和浩



今年4月より帯広第一病院事務長として就任致しました菊池と申します。

地域の皆様におかれましては、いつも大変お世話になっております。

私事ではございますが、私は7年前に帯広第一病院から関連病院であります帯広西病院へ異動し、事務長として7年間勤めておりましたが、この度帯広第一病院事務長として再び戻ってきた形となりました。

この7年間では帯広第一病院もコロナ渦の中、紆余曲折があり様変わりしたところもありますが、私としても外部から帯広第一病院を見ることができた一人として、良い所も悪い所も客観的に評価することができたと感じております。

その中で、今後地域の皆様方のご要望に帯広第一病院がどのように応えていけるのかをしっかりと考え、「変えるべきところは変える」という意識のもとで、理念でもあります「地域に信頼される病院を目指し、質の高い、思いやりのある医療サービスを提供する」を念頭に入れながら、職員一同と共に歩みを止めることなく邁進していく所存でございますので、今後とも何卒宜しくお願い致します。

## 看護部長就任のご挨拶

はやし かおる  
看護部長 林 かおる



2023年5月に看護部長を拝命しました。

帯広第一病院看護部は「変化に対応し、成長し続ける看護師」の育成に力を入れております。具体的には

- ・患者様のために行動できる看護師
- ・ポジティブに考え行動できる看護師
- ・専門職業人として行動できる看護師
- ・人の心に寄り添い気遣いができる看護師

このような看護師像が向かうベクトルの先が、看護部の理念である「患者様の尊厳を大切にした質の高い看護の提供」に繋がっていきと考えています。また、2018年より看護提供体制にPNS看護方式（パートナーシップナーシングシステム）を導入し、その結果、看護職が信頼し合い、互いを尊重し、思いやる心が強化されてきたと感じています。今後もPNS看護方式を基盤に、安心して働ける職場風土を醸成し続けていきたいと思っております。

そして病院の理念を全ての中心に置き、地域の皆様から選んでいただける組織づくりを目指してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

発行 公益財団法人北海道医療団 帯広第一病院 地域医療連携室  
〒080-0014 帯広市西4条南15丁目17番地3  
TEL 0155-25-3121 (病院代表) / 0120-558-091 (連携室直通)  
FAX 0155-27-0248 (連携室専用) e-mail renkei@zhi.or.jp

